



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月31日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3341 URL http://www.nicho.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津原 博  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鎌田 良樹 TEL 03-6810-0800  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切り捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	80,136	19.4	2,338	198.0	2,049	276.4	950	428.1
25年3月期第2四半期	67,115	7.4	784	△73.9	544	△79.8	180	△84.6

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 792百万円 (289.7%) 25年3月期第2四半期 203百万円 (△83.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	131.36	—
25年3月期第2四半期	25.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	115,826	17,374	13.2
25年3月期	95,140	14,702	15.5

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 15,279百万円 25年3月期 14,702百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
26年3月期	—	35.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,196	19.2	6,881	112.0	6,413	124.6	3,290	—	455.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社（社名）長生堂製菓株式会社、除外 1社（社名）－  
（注）詳細は、添付資料3ページ 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	8,012,000株	25年3月期	8,012,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	765,314株	25年3月期	783,814株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	7,236,157株	25年3月期2Q	7,193,308株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は完了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

当社は、平成25年11月12日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料についてはT D n e tにて開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月～9月）における我が国の経済は、財政・金融政策の進展、また2020年の五輪招致決定など明るい話題もあり、景気回復の傾向が見られました。医薬品・調剤薬局業界におきましては、本年は薬価改定、調剤報酬改定のない年度であり、昨年度末から大きな変化はなく推移しております。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高80,136百万円（前年同期比19.4%増）と増収となりました。利益面においては、営業利益2,338百万円（同198.0%増）、経常利益2,049百万円（同276.4%増）、四半期純利益950百万円（同428.1%増）となりました。

事業の種類別業績概要は以下のとおりであります。

#### ①調剤薬局事業

日本調剤株式会社による同事業では、当第2四半期連結累計期間において北海道1店、埼玉県2店、東京都5店、神奈川県4店、山梨県2店、長野県1店、静岡県1店、愛知県2店、兵庫県1店、香川県1店の合計20店舗を新規出店し、北海道1店、埼玉県1店、東京都1店の合計3店舗を閉局いたしました。その結果、総店舗数は483店舗（物販専業1店舗を含む）となりました。同事業の業績動向としては、既存店及び前年度閉局店舗の売上寄与により売上高70,805百万円（前年同期比12.2%増）となりました。利益面においては営業利益3,622百万円（同33.5%増）となりました。

#### ②医薬品製造販売事業

同事業において、平成25年4月8日に長生堂製薬株式会社（徳島県徳島市）を子会社化し、日本ジェネリック株式会社と合せて事業規模を拡大いたしました。当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は11,090百万円（前年同期比105.4%増）となりました。利益面においては営業利益282百万円（同154.7%増）となりました。なお、当第2四半期連結会計期間末時点での販売品目数は589品目となりました。

#### ③医療従事者派遣・紹介事業

子会社の株式会社メディカルリソースでは、薬剤師の派遣・紹介を中心に医師・看護師を含めた医療従事者総合人材サービス事業を運営しております。主要事業である薬剤師派遣が順調に推移しました結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高は2,513百万円（前年同期比28.0%増）となりました。利益面においては営業利益487百万円（同59.3%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は115,826百万円となり、前連結会計年度末に対して20,686百万円、21.7%増加いたしました。流動資産は55,459百万円となり、前連結会計年度末に対して12,421百万円、28.9%の増加となりました。主な要因としては、現金及び預金、原材料及び貯蔵品の増加等であります。固定資産は60,367百万円となり、前連結会計年度末に対して8,264百万円、15.9%の増加となりました。主な要因は、建設仮勘定の増加等であります。

負債は98,451百万円となり前連結会計年度末に対して18,014百万円、22.4%の増加となりました。主な要因としては、支払手形、短期借入金、長期借入金の増加等であります。

純資産は17,374百万円となり前連結会計年度末に対して2,671百万円、18.2%の増加となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが1,672百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△6,848百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが7,771百万円となりました。この結果現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末に対して2,595百万円増加して、17,108百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、主な収入項目は税金等調整前四半期純利益1,988百万円、減価償却費1,844百万円であり、主な支出項目はたな卸資産の増加額1,784百万円、法人税等の支払額1,486百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、主な支出項目は、調剤薬局事業の新規出店及び医薬品製造販売事業の生産設備への投資を主とした有形固定資産の取得による支出4,604百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出2,103百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、主な収入項目は長期借入れによる収入16,700百万円であります。一方主な支出項目は長期借入金の返済による支出9,130百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

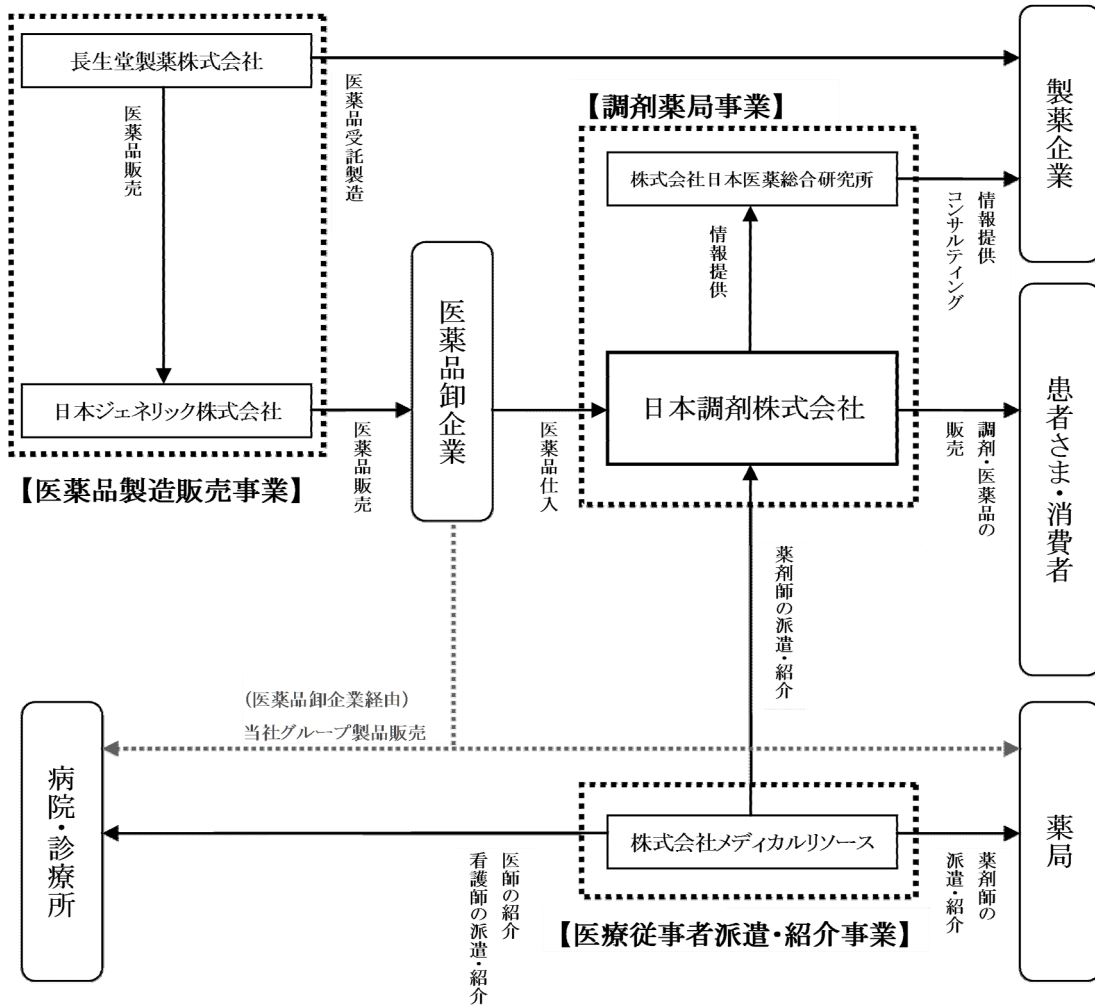
平成25年4月30日に公表いたしました平成26年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当社は、平成25年4月8日に長生堂製薬株式会社の株式を取得し、第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの事業の系統図は、以下のとおりであります。



(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,583	17,507
受取手形	—	916
売掛金	13,645	15,668
商品及び製品	11,908	14,208
仕掛品	175	785
原材料及び貯蔵品	322	3,580
その他	2,410	2,800
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	43,037	55,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,758	13,967
土地	13,215	15,154
建設仮勘定	1,180	4,356
その他（純額）	5,304	6,360
有形固定資産合計	32,459	39,839
無形固定資産		
のれん	7,724	7,989
その他	1,699	1,899
無形固定資産合計	9,423	9,888
投資その他の資産		
投資有価証券	1,199	943
敷金及び保証金	6,870	6,875
その他	2,149	2,819
投資その他の資産合計	10,219	10,638
固定資産合計	52,102	60,367
資産合計	95,140	115,826

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	—	2,442
買掛金	24,542	26,517
短期借入金	3,400	7,210
1年内償還予定の社債	—	7,092
1年内返済予定の長期借入金	10,665	3,614
未払法人税等	1,328	1,123
賞与引当金	1,556	1,772
役員賞与引当金	—	19
売上割戻引当金	243	192
その他	2,964	3,520
流動負債合計	44,702	53,505
固定負債		
社債	14,000	7,000
長期借入金	19,845	34,530
退職給付引当金	277	467
役員退職慰労引当金	683	1,228
その他	928	1,720
固定負債合計	35,735	44,946
負債合計	80,437	98,451
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	4,754	4,754
利益剰余金	7,915	8,612
自己株式	△2,269	△2,221
株主資本合計	14,353	15,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	349	181
その他の包括利益累計額合計	349	181
少数株主持分	—	2,094
純資産合計	14,702	17,374
負債純資産合計	95,140	115,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	67,115	80,136
売上原価	57,222	67,575
売上総利益	9,893	12,560
販売費及び一般管理費	9,108	10,222
営業利益	784	2,338
営業外収益		
受取手数料	50	57
受取賃貸料	37	70
その他	74	100
営業外収益合計	162	228
営業外費用		
支払利息	284	347
支払手数料	15	42
その他	102	127
営業外費用合計	402	517
経常利益	544	2,049
特別利益		
固定資産売却益	4	17
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	4	19
特別損失		
固定資産売却損	0	—
投資有価証券売却損	—	0
減損損失	49	79
特別損失合計	49	80
税金等調整前四半期純利益	499	1,988
法人税、住民税及び事業税	365	1,087
法人税等調整額	△45	△59
法人税等合計	319	1,028
少数株主損益調整前四半期純利益	180	960
少数株主利益	—	9
四半期純利益	180	950



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	180	960
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	△168
その他の包括利益合計	23	△168
四半期包括利益	203	792
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	203	782
少数株主に係る四半期包括利益	—	9

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	499	1,988
減価償却費	1,693	1,844
減損損失	49	79
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	124	152
売上割戻引当金の増減額 (△は減少)	19	△50
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△135	2
退職給付引当金及び前払年金費用の増減額	83	93
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	28	25
受取利息及び受取配当金	△10	△20
支払利息	284	347
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△0
固定資産売却損益 (△は益)	△4	△17
売上債権の増減額 (△は増加)	240	138
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,457	△1,784
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,812	236
その他	464	456
小計	1,692	3,489
利息及び配当金の受取額	10	20
利息の支払額	△279	△351
法人税等の支払額	△1,651	△1,486
営業活動によるキャッシュ・フロー	△228	1,672
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,703	△4,604
有形固定資産の売却による収入	5	110
無形固定資産の取得による支出	△178	△132
投資有価証券の売却による収入	—	29
長期前払費用の取得による支出	△63	△37
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△2,103
貸付けによる支出	△101	△109
貸付金の回収による収入	55	60
敷金及び保証金の差入による支出	△304	△133
敷金及び保証金の回収による収入	70	102
その他	△4	△30
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,224	△6,848

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△70	610
長期借入れによる収入	8,200	16,700
長期借入金の返済による支出	△1,626	△9,130
社債の償還による支出	—	△92
自己株式の売却による収入	49	51
配当金の支払額	△251	△252
その他	△11	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,290	7,771
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,837	2,595
現金及び現金同等物の期首残高	12,554	14,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,391	17,108

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	63,127	2,497	1,490	67,115	—	67,115
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,902	474	3,376	△3,376	—
計	63,127	5,399	1,964	70,491	△3,376	67,115
セグメント利益又は損失(△)	2,713	111	305	3,130	△2,345	784

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△2,345百万円にはセグメント間取引消去△57百万円及び全社費用△2,288百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(6店舗)の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、49百万円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	70,805	7,403	1,927	80,136	—	80,136
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3,686	586	4,272	△4,272	—
計	70,805	11,090	2,513	84,409	△4,272	80,136
セグメント利益又は損失(△)	3,622	282	487	4,393	△2,054	2,338

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△2,054百万円にはセグメント間取引消去△15百万円及び全社費用△2,039百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(7店舗)の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては79百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「医薬品製造販売事業」セグメントにおいて、平成25年4月に長生堂製薬株式会社の株式を取得して子会社化しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては、503百万円であります。